

AREC特別講演会

「農商工連携による植物工場進出 高付加価値商品の開発」

■日時：平成25年8月5日（月） 13:30～16:00

※終了後、名刺交換交流会開催（希望者）

■場所：AREC [上田市産学官連携支援施設] 4階（上田市常田3-15-1 信州大学繊維学部内 Tel:0268-21-4377）

■講演1 『農業の成長産業化について』

13:30～14:10

講師：経済産業省関東経済産業局 産業部 経営支援課長 関根 恵子 氏

要旨：経済産業省では、農林水産業の成長産業化を加速するため、先端技術や商業ネットワークを活用した農業産業化システム「植物工場」の実証・普及や、市場ニーズを捉えた効率的な加工・流通システム構築に対する支援を行っています。また、農林水産業と商工業等有機的に連携して新商品の開発や販路開拓等に取り組み農商工等連携事業を実施しています。

■講演2 『機能性植物栽培の事業展開と課題』

～健康機能食品への新展開～

14:15～15:25

講師：関西鉄工株式会社 総務部開発グループ 次長 植田 頼親 氏

要旨：植物工場の事業化における最大の問題はその出口戦略で、リーフ系レタス等の生食用野菜の販売だけでは事業採算性が非常に厳しいのが現実である。また完全制御型植物工場では生産における高コスト性から、高付加価値を求め機能性植物栽培を志向する場面が多い。弊社ではインドハーブのアシュワガンダや南アフリカ原産のアイスプラント等の健康機能成分に着目し、これらの効率的で高付加価値な栽培方法を探索するとともに、健康機能食品素材としての事業化にも取り組んでいる。これらの事例を課題も含め紹介する。

■講演3 『長野県の植物工場の設置・稼働状況と販路形成』

15:30～16:00

講師：株式会社産直新聞社 代表 毛賀澤 明宏 氏

要旨：長野県には各地に植物工場が設置され稼働しているが、コスト面・販路面などで克服すべき課題も多い。県内の先進モデルであった某社が、親会社の事業整理により事業停止となった波紋も大きい。いったい、県内の初植物工場の設置・稼働状況はどうなっているか？ 特に、植物工場で栽培された農産物の販路形成に焦点をあてて、今日的な特徴を浮き彫りにすることを目指したい。

主催：AREC・Fiiプラザ／一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター

共催：信州大学 先進植物工場研究教育センター(SU-PLAF)／公益財団法人長野県テクノ財団 浅間テクノポリス地域センター

●お申込先 AREC・Fiiプラザ事務局 宛 Tel 0268-21-4377（担当：事務局長 岡田）

メール（mousikomi@arecplaza.jp）またはファックス（0268-21-4382）でお申し込みください。

AREC特別講演会 参加申込書		[平成25年8月5日]	
企業・機関名			
参加者名			
所属・役職		電話番号	
メールアドレス		ファックス番号	

※ご記入いただいた個人情報（御社名、所属・役職、氏名）は受付名簿としてのみ使用し、他の用途には一切利用いたしません。